

平成 27 年度 活動方針・事業計画

大阪市では、平成 23 年度に大阪市地球温暖化対策実行計画を策定し、2020 年度（平成 32 年度）までに市域での温室効果ガス総排出量を 1990 年度（平成 2 年度）比で 25%以上削減することを目標に掲げ、市民、事業者、行政等が各々の役割に応じた温室効果ガス削減の取組みを進めています。

また、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災に伴う福島第 1 原子力発電所の事故を受けて、国の地球温暖化対策については、エネルギー政策と一体的に見直しを行う中で新たな計画を策定するとされており、大阪市としては、その検討状況などを見極めつつ、地球温暖化対策を着実に推進することとしています。加えて、昨今の電力不足及びその一連の対応において、火力発電の割合の増加などにより温室効果ガス排出総量が上昇するなど、地球温暖化対策は厳しい局面を迎えています。

このような状況において、市民、環境 NGO/NPO、学識経験者、事業者、行政等が協働した温室効果ガス排出抑制や環境にやさしいライフスタイルへの移行は益々重要になってきており、「なにわエコ会議」は、市民、環境 NGO/NPO、学識経験者、事業者、行政等が一体となって、さまざまな温暖化防止活動、省エネ・省 CO₂ 活動の推進役として重要な立場を担っています。

なにわエコ会議は設立 10 年目を迎え、一定のノウハウが蓄積されてきたことを踏まえ、平成 27 年度の活動方針・事業計画では、活動のさらなる活性化を図るため、各団体との連携強化や情報発信などこれまで以上に精力的に諸活動を展開していきます。

1 活動方針

- ・ 「なにわエコ会議」は、市民、環境 NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな地球環境問題について取り組んでいきます。
- ・ 「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「行政の環境配慮行動の推進（環境にやさしい行政活動の推進）」を活動の柱とします。
- ・ 会員団体・役員団体との連携を強化し、協働した取組みを積極的に推進します。
- ・ 地域で取り組んでいる環境活動を積極的に支援するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深めながらネットワーク化を図っていきます。
- ・ 区等他団体主催のイベントに継続して参加協力するとともに、それら団体に対し「なに

わエコ会議」主催イベントへの参加協力を積極的に働きかけることにより、相互協力の強化を図っていきます。

- ・ 「なにわエコ会議」では、地域における環境保全活動の支援や実践活動を通じた人材の育成を進めるなど、広がりがあり、持続する着実な取組みを推進していきます。
- ・ 各部会の連携、部会活動の強化、会員間の情報交流や相互啓発を進めるとともに、地球温暖化防止等の推進に関する具体的なアイデアや取組みの発掘を行い、「なにわエコ会議」として実践する諸活動の展開を図っていきます。
- ・ 「なにわエコ会議」の組織基盤の確立を図るためICTを活用した積極的な情報発信、情報共有や活動の場の提供等を通じて、「なにわエコパートナー」の拡大を図ります。

2 事業計画

【重点項目】

なにわエコ会議として、次の重点項目を掲げ、地球温暖化防止やごみ減量について積極的に取り組んでいきます。

- ①「大阪市地球温暖化対策実行計画」を踏まえ、これまでの実績のある各部会の活動の強化・拡大を図りつつ、新たな活動の機会の創出や活動メンバーの連携強化により、なにわエコ会議として活動の活性化を図ります。
- ②区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を精力的に推進します。
- ③副読本「おおさか環境科」を活用した普及啓発活動に取り組みます。
- ④なにわエコライフチャレンジシートなどを活用し、環境にやさしいライフスタイルを推進します。
- ⑤地球温暖化防止に向け、市内で活動する企業と協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。
- ⑥エコバッグの普及（レジ袋の削減）・ごみ減量活動などに積極的に取り組めます。
- ⑦会員団体・役員団体と協働した取組みを強化します。
- ⑧あらたな活動や発表の場の創出などにより、なにわエコ会議の魅力を高め、会員数の増につなげていきます。

【全体活動】

（1）各種環境活動団体との連携、環境団体との交流・ネットワーク化

- ① 各種団体主催の環境イベント等との連携を深め、なにわエコ会議の活動を展開していきます。

- ② なにわエコ会議として、地球温暖化対策地域協議会（毎年更新）や環境NPO総覧への登録を継続し、各地域で活躍している環境団体とのネットワーク化を図っていきます。
- ③ 区等他団体主催のイベントに継続して参加協力するとともに、それら団体に対し「なにわエコ会議」主催イベントへの参加協力を積極的に働きかけることにより、相互協力の強化を図っていきます。
- ④ なにわエコ会議の活動拠点を、もと大阪市立環境学習センター別館に置き、なにわエコ会議と他団体、大阪市エコボランティアとの連携強化を図っていきます。

（２）部会活動の充実と部会を横断した環境イベントの取組み

各部会活動をより一層充実させるとともに、部会を横断した情報共有や協議を行い、市民一人ひとりが環境活動に取り組んでもらえる環境イベントの主催やその他イベントへの参画・協力を努め、あわせて部会活動の強化を図ります。

（３）若い世代の参加の促進

小中学校のPTAや大学・高校等の教育機関や環境保全活動を進めているサークル等との連携を進め、なにわエコ会議の趣旨に沿った活動団体の参加者等へ、なにわエコ会議の活動をPRすることにより、若い世代の参加の促進を図ります。

（４）環境情報誌の発行

地球温暖化防止をはじめとした、さまざまな環境問題について、市民・事業者等に分かりやすい環境情報誌「なにわエコウェブ」の発行形態を見直し、発行回数の増などにより、効率的・効果的な情報発信をめざします。

（５）ICTの活用による情報発信

市民・エコパートナーに「なにわエコ会議」の活動を迅速に情報発信するとともに、当会のPRのために、引き続きホームページの内容の充実を図ります。また、ツイッターやフェイスブック等のSNSを活用した情報発信を強化します。

（６）啓発ツールの活用

出前講座や環境イベント・講演会などで効果的な啓発活動を行うため、次のとおり啓発ツールを活用します。

- ・平成24年度から小中学校の教育現場に導入された副読本「おおさか環境科」の活用を図ります。
- ・大阪市が作成した地球温暖化対策の具体的な行動を促進するための啓発ツール「大阪市地球温暖化対策マニュアル」の活用を図ります。
- ・「エコすごろく」に続くエコ会議独自の啓発ツールを開発し、それらを活用した積極的な啓発活動を実施します。

（７）なにわエコ会議参画団体との連携

なにわエコ会議にさまざまな形で連携をいただいている団体との事業の推進に係る連携手法を検討していきます。

また、大阪市との連携において、副読本「おおさか環境科」の改訂、編集等に協力します。

【部会の取組み】

（１）エコライフ部会

地球温暖化防止に向けて、大阪市が進める温室効果ガス２５％削減に市民レベルで取り組む「なにわエコライフチャレンジシート（大阪市版環境家計簿）」への参加と、ヒートアイランド対策の取組みを基本にした低炭素社会の見える化運動を推進していきます。あわせて、人や環境や社会に配慮したエコ・エシカルスタイルの提案と実践をアピールしていきます。

次の事業を大阪市エコボランティアや環境団体と連携して取り組みます。

①エコ・エシカルライフの推進

- ・「なにわエコライフチャレンジシート（大阪市版環境家計簿）」の参加・普及活動
- ・レジ袋削減にかかる啓発活動の強化
- ・グリーン購入、エシカル消費の促進

②知って得するエコカフェ講座の開催

- ③「ストップ地球温暖化！エシカルセミナー」の開催を食やファッションなど身近な暮らしをテーマに実施

（２）環境教育・啓発部会

<方針>

- ① 環境出前講座を積極的に推進します。
（「おおさか環境科」支援、部会内の相互協力）
- ② 地域と連携した環境教育・啓発活動を推進します。
（出前講座・イベントを含む 年 20 回以上、他の関連部署との連携）
- ③環境に関する研修・見学（施設・設備）を実施します。
- ④環境教育・啓発部会が中心となってイベントを企画し、地域等へ参加協力を働きかけます。

<具体的計画>

- ①環境出前講座の実施、企画会・委員の総会での報告、エコウェブ発行に協力
- ③ 「区民まつり」等、地域環境啓発に協力・支援、「研修」他
- ④ 「環境ふれあいひろば」の開催
（3部会合同開催、港区小学校、区役所、地域団体等参加協力依頼）

(3) 環境に配慮した企業部会

地球温暖化防止など企業の環境への取組みを促進するために、企業・企業団体と連携した活動を推進します。

①大阪市環境経営推進協議会との連携

当協議会と連携し、セミナーや視察研修会等の情報を提供します。

②エコアクション21普及セミナー・講習会の実施

企業団体と連携し、環境省が推進するエコアクション21の普及セミナー及び認証取得のための講習等を実施します。

③エコアクション21二酸化炭素削減プログラムの推進

環境省の実証事業である「エコアクション21二酸化炭素削減プログラム」を活用し、中小企業を対象に省エネ支援を実施します。

④節電・省エネコンペの実施

引き続き、温暖化防止及び電力需給緩和を目的とした節電・省エネコンペを実施します。

⑤講師派遣や環境相談の実施

環境教育啓発部会や大阪市環境経営推進協議会と連携し、希望に応じて事業者への講師の派遣を行います。また、節電・省エネ等の無料相談にも応じていきます。